

教育サポート報告

「月寒川にぎわい川まつり 2007」

鳥谷部 晃綱

1. 開催日時 平成 19 年 7 月 28 日(土) 10:00~15:00
2. 場所 白石土木センター駐車場
3. 当日サポート 安部さん、鈴木(雅)さん、山田さん、前川さん(通電技術から手伝い)
鳥谷部。
写真担当 赤松さん。
特別参加 工藤さん(東京支部長)

4. 内容

事前の予定では、にぎわい川まつりの環境学習を担当するため、次の2点についてサポートを行うこととしておりました。

- ・「月寒川探検隊」のサポート 3名
- ・水車発電(自転車発電・環境教育) 3名

しかし、開催当日未明まで降り続いた雨により、月寒川が増水し川の中で行う予定だった行事は全て中止せざるを得ない状況となっていました。

一時は、開催自体も危ぶまれ技術士会のサポートもなしとなる可能性がありましたが、唯一陸上でできる「自転車発電機」を実施して欲しいとの区役所担当者様からの要望で、テント内の「自転車発電機」と「環境教育」を開催することとしました。



[増水した月寒川]



[テント内の様子]

開催場所も、当初予定していた川のそばの芝生が転落の危険があるので一切近寄らないこととされたため、焼き鳥などの催事テントの末端に店開きすることになりました。

今年は、自転車発電機のダイナモで板谷さんから提供していただいた小型の液晶テレビを点けるというものを持ち込みました。

自転車をこいで電圧さえ上がれば、屋外でもありテレビは良く映りました。

ただし、瞬間的には見えるものの映像を保つため一定のレベル以上に安定してこぐのはなかなか難しく子供達も暑い中がんばっていました。

環境教育としては、自転車発電機を体験してもらった子供達に、自分がこいだ分の電気を家庭の電気に置き換えた時、どの程度炭酸ガスが発生するのか、一日で家庭からどのくらいの炭酸ガスが出ているかを、ペットボトルに水（お茶）を入れたものを用意して、重さで体感してもらいました。

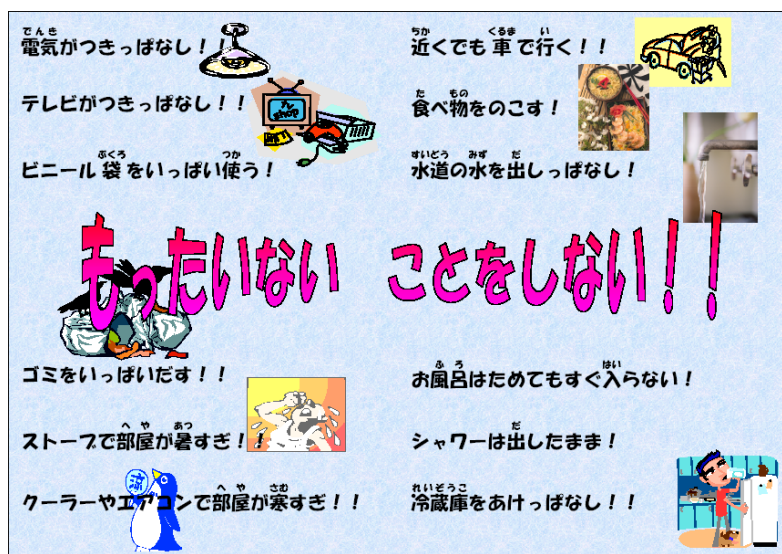
家庭で使用しているエネルギーによって、意外とたくさんの炭酸ガスがでていることを体験してもらえたようです。

また、環境学習として炭酸ガス削減に向けていろいろなもったいないことをしないようにしようという呼びかけの紙芝居風の資料を作成して、子供達に説明しました。

「きみはやっていないかな？」との問いかけに、「してないよ！」と答えてくれる子供達が多くいました。



[自転車発電機 実演]



[紙芝居風 炭酸ガス削減のための資料]

をしていただく方もいらっしゃいました。

今年は、開会式直後まで結構な量の雨が降りましたが徐々に回復し、例年程度の子供達が訪れてくれました。

テレビは喜んでもらえましたが、なかなか安定して見られなかったもので、もう少し楽にできるよう自転車のサイズなどに改良が必要と思っております。

サポートいただきました皆様自転車発電の実演にご協力いただきありがとうございました。

以上

その他、水車が設置できなかったもので、水車で回すことはできませんでしたが、手回し発電機でLEDが点く様子を体験してもらいました。

子供達やその親御さんなどが、延べ 30 人ほど訪れてくれました。

中には、「オール電化住宅は省エネとか炭酸ガス排出の面でどうか」や「ディーゼル車は効率が良いといわれているが」と突っ込んだ質問